

「感じ」「動き」「かわる」…田平東小は今年度創立150周年!



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和6年12月16日 文責:校長 森川 稔



真剣に取り組みました

早いもので今学期も登校日数が7日となりました。各学年とも2学期のまとめの学習に取り組んでいます。

先週木曜日(10日)に市学力調査を行いました。平戸市の全小学校全学年が国語科と算数科に取り組みました。これまで学習してきた内容の習熟度確認や昨年度までの結果を比較しながら一人一人の学力の伸び、課題等を把握するための大切な調査です。

どの学年も真剣に問題に向き合い、最後までがんばって考えていました。詳細な結果は2月に届く予定です。実施前にはこれまでのデータと現状の学びの様子をもとに目標数値を各学年とも掲げて取り組みました。実施後はすべての解答を先生方で採点し、概要値として出し、朝の学力向上の時間などで苦手意識のあった問題や誤答、無回答の問題を中心に少しずつ振り返る指導を行っていきます。学力調査を一つの通過点とせず、確実な学力の定着を目指していきたいと思えます。



自分の目標に向かって

先週金曜日は授業参観もかねて持久走記録会を行いました。以前お伝えしたように、本講では順位など友達との競争ではなく、練習を続ける中で立てた自分の目標タイムに向けて、安定したペースで走りきることを目標としています。

当日は開始前に雨がぱらつき、学年ごとの実施を急遽、低・中・高学年の3レースに変更して実施することにしました。急な変更にもかかわらず参加した子どもたちは、自分の目標に向かって一生懸命走りました。開会式でも話しましたが、この記録会を通して、



本校の子ども像である「やさしく(友達を応援する心、ルールを守って走る考える力)」「かしこく(自分のペースを意識する)」「たくましく(寒さに負けない強い心と体、たとえ苦しくても最後までがんばる心)」を意識した子どもたちの姿が随所で見られました。



寒い中、あたたかいご声援を送っていただき、また、記録会後の学級懇談会にもご参加いただき、ありがとうございました。

東っ子かたろう会（学校支援会議）

学級懇談会と同じ時間帯に、東っ子かたろう会（学校支援会議）を行いました。この会に参加していただくのは、本校学校支援員、各区長、民生児童委員、PTA会長の方々と学校職員です。

会の中では、2学期の学校の様子や創立150周年事業の報告、学校評価についての考察をもとに、各方面からご意見やご質問、ご感想をいただきました。子どもたちのあいさつの声（声の大きさ、表情、どう伝わっているか）から子どもたちの様子を見ていただいていること、メディアの使い方、食生活改善推進委員など関係機関の積極的な活用、特別支援学校（学級）との交流を通じたインクルーシブ教育の推進など多くのお声をいただきました。

子どもたちのよりよい成長、地域の中の学校としてさらに充実した教育活動を行うため、職員やPTAとも共有しながら取り組んでいきたいと思えます。



今度は1年生が2年生を招いて

10月に、2年生が生活科でつくったいろいろなおもちゃを使って、1年生を招き「おもちゃ大会」を行いました。1年生も生活科「楽しい秋いっぱい」で秋のおもちゃづくりを楽しみました。ドングリや松ぼっくり、木の枝など自分たちで見つけてきたものを使って、魚釣りゲームやコマづくり、楽器ややじろべえなどいろいろな作品ができています。

そこで、今回は1年生が2年生を招いて、1年生教室で秋のおもちゃ大会を行いました。いろいろなおもちゃで2年生も楽しく遊び、元気な声が響いていました。学年のつながりを感じた時間でした。



田平東小HPはこちらから→

